

Robot Suite 取扱説明書 (遠隔操作・ヘルスチェック)



目次

1 サービス概要	3
1-1 はじめに	3
1-1-1 概要	
1-1-2 動作環境	
2 利用の準備	7
2-1 Robot Suite へのログイン	7
2-1-1 はじめてログインする	8
2-1-2 ログインする	10
2-1-3 ログアウトする	12
2-2 初期設定をする	13
3 基本操作	17
3-1 登録情報	17
3-1-1 ユーザー情報を管理する	
3-1-1 ユーザー情報を旨達する	
3-1-3 Pepper の機体情報を管理する	
3-2 ヘルスチェック	
3-2-1 ヘルスチェック結果を確認する(グループ別)	
3-2-2 ヘルスチェック結果を確認する (全グループ)	
3-3 稼働レポート	
3-3-1 稼働状況を確認する (全グループ)	
3-3-2 稼働状況を確認する (グループ別)	
3-4 レストプランナー	41
3-4-1 レストプランナーを設定する	
3-4-2 レストプランナーの実行状況を確認する	
3-5 インタラクション分析	48
3-5-1 Pepper が取得したデータを CSV 形式でダウンロードする	
4 用語集	51

1 サービス概要

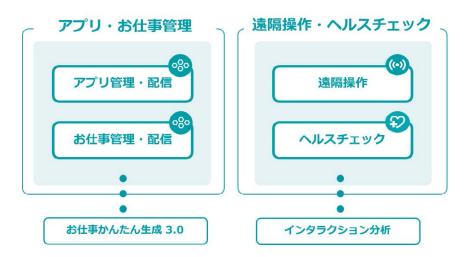
1-1 はじめに

1-1-1 概要

Robot Suite は、複数あるPepper の管理ツールを一元的に利用することができるポータルウェブアプリです。

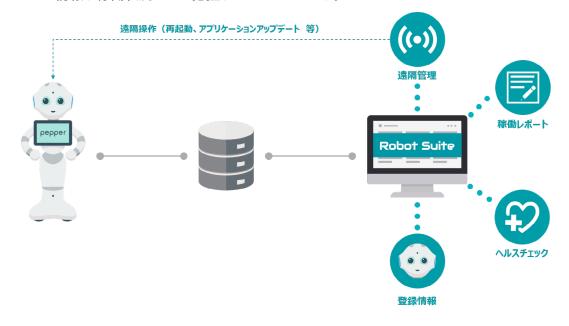
- ■「Robot Suite(アプリ・お仕事管理)」(「Robot Suite(アプリ・お仕事管理)の主な機能」 5ページ参照)と「Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)」(「Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)の主な機能」4ページ参照)の2つのウェブアプリで構成され、それぞれ使用するウェブページが異なるためご注意ください。
- 本書には「遠隔操作・ヘルスチェック」の機能説明や操作方法が記載されています。「アプリ・お 仕事管理」を利用する場合は「Pepper for Biz 3.0 取扱説明書」をご覧ください。

® Robot Suite



■ Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) の主な機能

Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) では、マーケットに展開しているロボットを遠隔で監視し、ロボットのエラー情報や稼働状況などを把握することができます。



機能	説明	参照
稼働レポート	Pepper の稼働状況(月次/日次)や、平均稼働時間、インタラクション時間を全グループ、またはグループ別に確認することができます。稼働状況は CSV ファイルでダウンロードすることもできます。	3434 ページ の「3-3 稼働レ ポート」参照
ヘルスチェック	Pepper の現在の健康状態を全グループ、またはグループ別に確認することができます。過去に発生したエラー症状やエラー箇所、発生後のアドバイスなど対処方法も確認できます。	2626 ページ の「3-2 ヘルス チェック」参照
レストプランナー	指定した時刻にロボットを休憩状態(セーフレス トの姿勢)にすることができます。	41 ページの 「3-4 レストプラ ンナー」参照
インタラクション分 析	SBR アカウント(あるいはアルデバランアカウント)に紐づく Pepper が取得したデータを閲覧することができます。	Pepper for Biz 3.0 取扱説明書の 「インタラクショ

■ 画面は仕様変更などの理由により予告なく変更される場合があります。

■ Robot Suite (アプリ・お仕事管理) の主な機能

「お仕事かんたん生成 3.0」を利用すると Pepper にお仕事をさせることができ、その他にもロボット・アプリ・お仕事・アカウントの管理など、複数のサービスを Robot Suite を介して操作することができます。

機能	説明	参照
ロボットの管理	ロボット (Pepper) の全般的な管理を行います。 SBR アカウント (あるいはアルデバランアカウント) に紐付けされたロボット (Pepper) を管理します。アプリ/お仕事のロボット (Pepper) への追加や、ロボット (Pepper) のグループ 化などができます。	Pepper for Biz 3.0 取扱説明書の 「ロボット管理」 参照
アプリ/お仕事の管理	Pepper で利用するアプリを管理できます。 また、お仕事かんたん生成 3.0 アプリを利用すると、Pepper にお仕事をさせることができます。 お仕事とは、Pepper が行う業務全体のことです。	Pepper for Biz 3.0 取扱説明書 の「アプリ/お仕 事の動作の概要」 参照
ユーザーの管理	ユーザーに関する全般的な管理を行います。 ユーザーごとにアカウントを発行したり、権限を 付与したりすることができます。	Pepper for Biz 3.0 取扱説明書の 「ユーザー管理」 参照

1-1-2 動作環境

項目	説明
機体	Pepper for Biz
NAOqi バージョン	2.5 以上 ※ NAOqi バージョン 2.4.3 はサポート対象外です
ネットワーク	無線 LAN (Wi-Fi) 接続可能な環境 以下 UDP ポート番号の疎通が可能な環境 UDP ポート 5060 (IN/OUT) UDP ポート 10000 ~ 20000 (IN/OUT) ルーターの以下の機能がオフとなっている環境 UPnP SIP-NAT ※ Pepper 側の通信回線は、固定回線を利用した無線 LAN (Wi-Fi)を推奨いたします。
OS	Windows 7, Windows 10 (推奨)
ブラウザ	最新版の Google Chrome, Microsoft Internet Explorer11

2 利用の準備

2-1 Robot Suite へのログイン

Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) にログインします。はじめてログインする場合は、通常のログイン手順と異なるためご注意ください。

- 契約時に登録したメールアドレスで Pepper と Robot Suite にログインしてください。
- Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) にログイン後、一定時間経過するとタイムアウトします。 タイムアウトした場合は、再度ログインしてください。入力途中の情報は削除されますのでご注意 ください。
- 所有するロボットの台数により、ログインに時間がかかる場合があります。

2-1-1 はじめてログインする

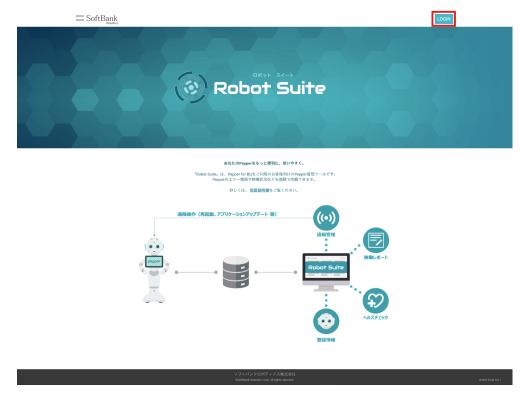
Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)にはじめてログインします。メールアドレスとパスワードを入力したら、必ず初期設定(「2-2 初期設定をする」 13 ページ参照)を行ってください。

1 ブラウザで Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) にアクセス

ブラウザで「https://ros.robot.softbank.jp」 にアクセスしてください。 Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) のホーム画面が表示されます。

2 「LOGIN」をクリック

ログイン画面が表示されます。



3 メールアドレスとパスワードを入力する

■ SBR アカウント取得時に登録したメールアドレスとパスワードを入力してください。



4 「ログイン」をクリック



■ メールアドレスとパスワードを入力したら、13 ページの「2-2 初期設定をする」に進んでください。

2-1-2 ログインする

Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) にログインします。

1 ブラウザで Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) にアクセス

ブラウザで「https://ros.robot.softbank.jp」 にアクセスしてください。 Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) のホーム画面が表示されます。

2 「LOGIN」をクリック

ログイン画面が表示されます。



3 メールアドレスとパスワードを入力

■ SBR アカウント取得時に登録したメールアドレスとパスワードを入力してください。



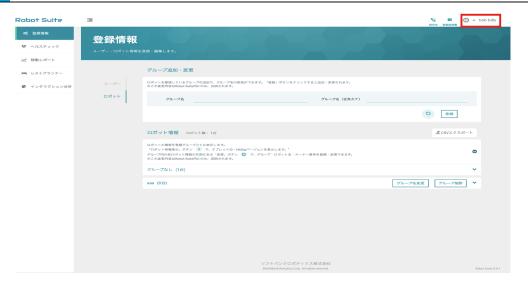
4 「ログイン」をクリック



2-1-3 ログアウトする

Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) からログアウトします。

1 アカウントをクリック



2 「ログアウト」をクリック

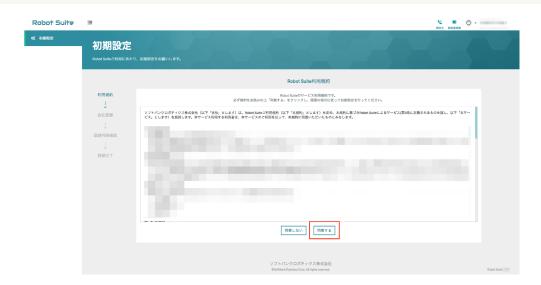
ログアウトが完了します。



2-2 初期設定をする

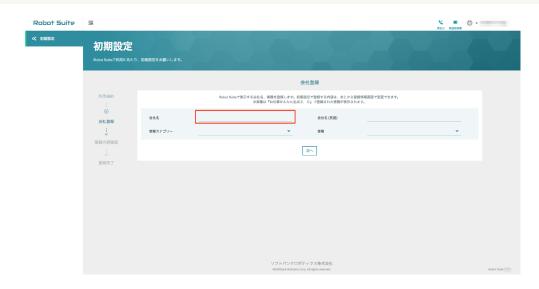
Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) をはじめて利用するときは、初期設定を行ってください。初期設定で登録する内容は、あとから登録情報 (「3-1 登録情報」 17 ページ参照) で変更できます。

- 1 ブラウザで Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) にログインする (「2-1-1 はじめてログインする」 8 ページ参照)
- 2 規約内容を確認し、「同意する」をクリック
 - 利用規約に同意されない場合は Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) のサービスは利用できません。

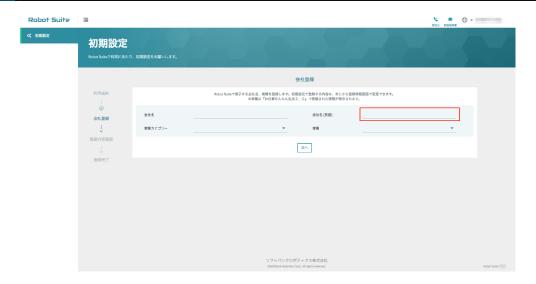


3 「会社登録画面」で会社名を入力

■ Robot Suite (遠隔操作・ヘルスチェック) で表示する会社名を入力してください。



4 会社名(英語)を入力



5 業種カテゴリーを選択



6 業種を選択



7 「次へ」をクリック



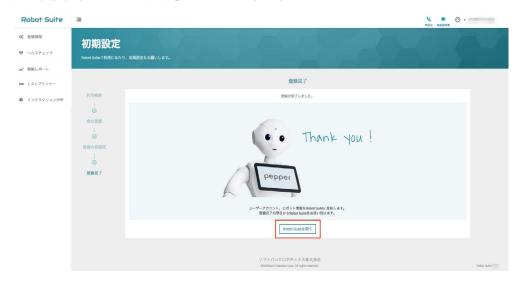
8 登録内容を確認し、「登録」をクリック

初期設定が完了します。



9 「Robot Suite を開く」をクリック

登録情報画面(「3-1登録情報」17ページ参照)が表示されます。



3 基本操作

3-1 登録情報

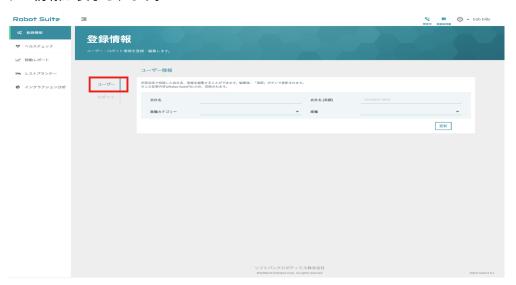
ユーザー情報やロボット情報を登録・編集します。

3-1-1 ユーザー情報を管理する

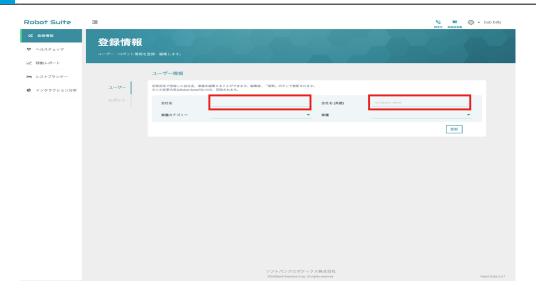
初期設定(「2-2 初期設定をする」13ページ参照)で登録したユーザー情報(会社名、業種)を編集します。

1 登録情報画面で「ユーザー」をクリック

ユーザー情報が表示されます。



2 会社名(日本語/英語)を編集をクリック



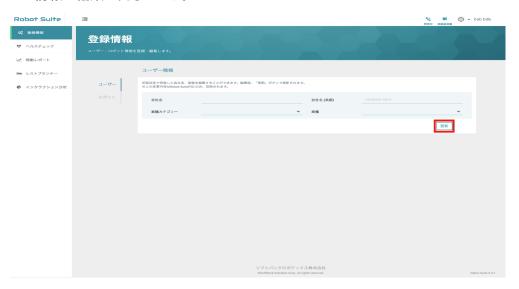
3 「業種カテゴリー」と「業種」を選択

ユーザー情報が表示されます。



4 「更新」をクリック

ユーザー情報の編集が完了します。

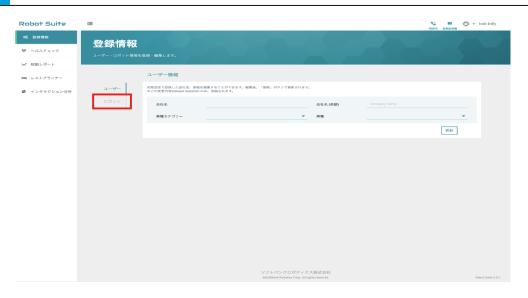


3-1-2 ユーザー情報を管理する

グループ情報の新規登録(「グループ情報を追加する」19ページ参照)や、あらかじめ登録したグループ情報の編集(「グループ情報を編集/削除する」21ページ参照)をします。

■ グループ情報を追加する

1 登録情報画面で「ロボット」をクリック



2 グループ名とグループ名(カナ)を入力



3 「登録」をクリック

グループ情報の登録が完了します。



■ グループ情報を編集/削除する

1 登録情報画面で「ロボット」をクリック



2 登録情報を編集したいグループの「グループ名変更」をクリック

■ グループを削除する場合は「グループ削除」をクリックしてください。削除したロボットは「グループなし」に表示されます。



3 グループ名とグループ名 (カナ) を編集する



4 「登録」をクリック

グループ情報の編集が完了します。



3-1-3 Pepper の機体情報を管理する

登録されているロボットのロボット名やグループ名、オーナー番号を編集します。

1 登録情報画面で「ロボット」をクリック

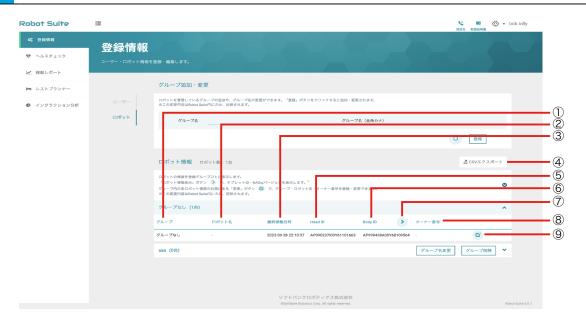
ロボット情報画面が表示されます。



2 編集したいロボットの 🗹 をクリック



3 ロボット名やオーナー番号を編集



ロボット情報画面

番号	説明
1	ロボットのグループ名です。あらかじめ登録したグループ名から選択できます。
2	ロボット名です。
3	ロボット情報を CSV ファイルでダウンロードします。
4	ロボットの最終稼働日時です。
5	ロボットの Head ID です。
6	ロボットの Body ID です。
7	ロボット情報を表示するボタンです。タブレット ID、ロボットの NAOqi バージョンが表示されます。
8	オーナー番号です。
9	ロボット情報の編集ボタンです。

■ グループの変更、ロボット名とオーナー番号のみ編集できます。



🕶 をクリック

編集が完了します。



3-2 ヘルスチェック

ロボットの健康状態を全グループまたはグループ別に確認したり、過去に発生したエラー症状やエラー箇所、エラー発生後のアドバイスなどの対処方法を確認します。

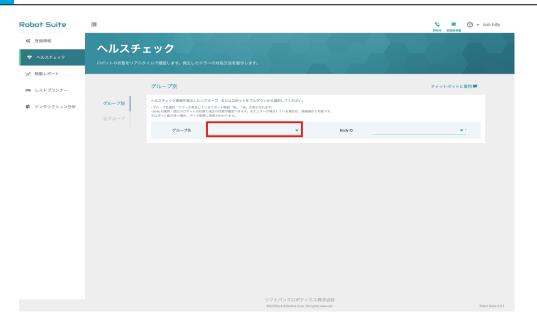
3-2-1 ヘルスチェック結果を確認する(グループ別)

グループ別にロボットの健康状態を確認します。健康状態はヘルスチェック結果として緑色・黄色・赤色のステータスで表示され、エラーが発生している場合は、エラーを解消するための対処方法も表示されます。 また、過去のエラー内容やアドバイス(対処方法)発生件数なども確認できます(「エラー履歴を確認する」 30 ページ参照)。

- ヘルスチェック結果を表示する際、グループ名を選択する場合(「グループ名を選択する場合」 26ページ参照)と、Body ID を選択する場合(「Body ID を選択する場合」28ページ参照) でヘルスチェック結果の表示内容が異なるためご注意ください。
- 登録されているロボットの数が多い場合、データ取得に時間がかかります。

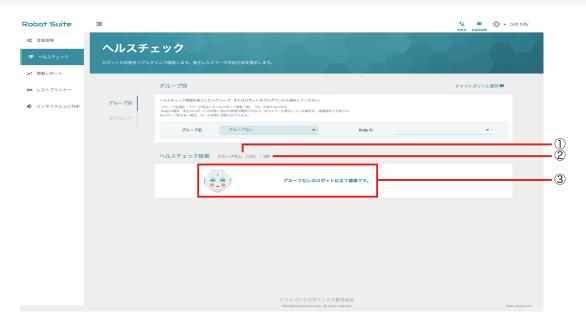
■ グループ名を選択する場合

1 ヘルスチェック画面のグループ別で「グループ名」を選択



2 ヘルスチェック結果を確認する

■ 全てのステータスのロボットを表示させたい場合は、Body ID を選択してください(「Body ID を選択する場合」28 ページ参照)。

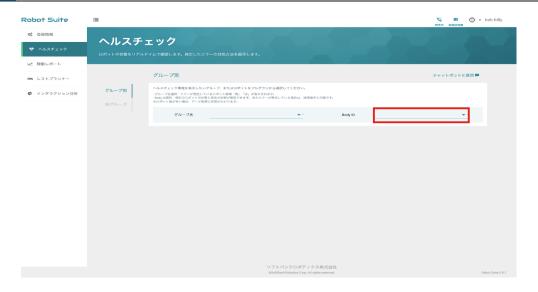


ヘルスチェック結果画面

番号	説明
1	ヘルスチェックしたグループ名です。Body ID で検索した場合は、ロボットの Body ID が表示されます。
2	エラーを検知した件数です。
3	ヘルスチェック結果の内容です。 エラーが発生した場合:赤色と黄色の信号が表示されます。エラーが発生していない場合:「ロボットは全て健康です。」と表示されます。

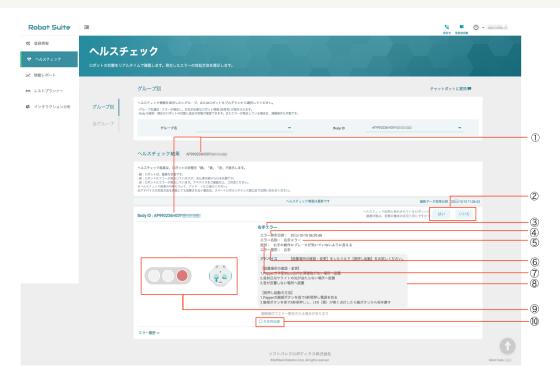
■ Body ID を選択する場合

1 ヘルスチェック画面のグループ別で Body ID を選択する



2 ヘルスチェック結果を確認する

- 緑色や黄色も含め全てのステータスのロボットが表示されます。
- ヘルスチェックの結果は 1 週間前まで履歴で確認できます。

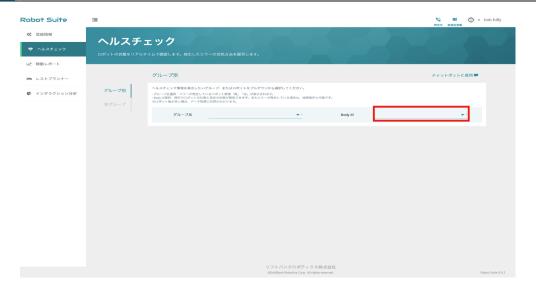


ヘルスチェック結果画面

番号	説明
1	ヘルスチェックしたロボットの Body ID です。
2	アンケートの回答ボタンです。ヘルスチェック結果の内容と実際のロボットの健康状態が同じ か確認し、回答してください。
3	発生したエラーの名称です。
4	エラーが発生した日時です。
5	発生したエラーの名称です。
6	エラーが発生した箇所(部位)です。
7	エラーの症状です。
8	エラーを解消するためのアドバイス(対処方法)です。対処方法はエラー内容により異なります。
9	ヘルスチェック結果のステータスです。ステータスは緑色・黄色・赤色の3段階で表示されます。 ■ 緑色:良好 (ロボットは健康な状態です。) ■ 黄色:注意 (ロボットに一時的なエラーが発生していますが、お仕事は継続できる状態です。) ■ 赤色:警告 (ロボットにエラーが発生しています。解決方法をお試しください。)
10	遠隔操作の実行ボタンです。必要に応じて遠隔操作を実行してください。 ※遠隔操作の実行ボタンの表示は発生したエラー内容により異なります。

■ エラー履歴を確認する

1 ヘルスチェック画面のグループ別で「Body ID」を選択する

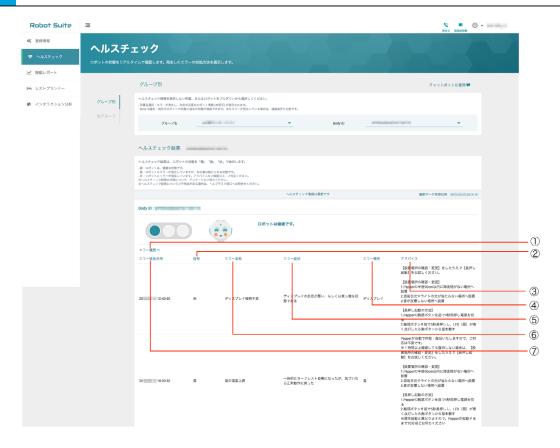


2 「エラー履歴」をクリック

エラー履歴一覧が表示されます。



3 エラー履歴を確認する



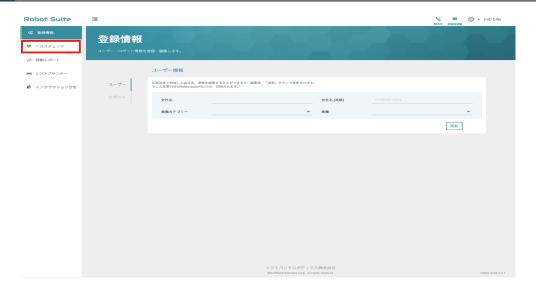
エラー履歴画面

番号	説明
1	ヘルスチェックしたロボットの Body ID です。
2	アンケートの回答ボタンです。 ヘルスチェック結果の内容と実際のロボットの健康状態が同じ か確認し、回答してください。
3	発生したエラーの名称です。
4	エラーが発生した日時です。
5	発生したエラーの名称です。
6	エラーが発生した箇所(部位)です。
7	エラーの症状です。

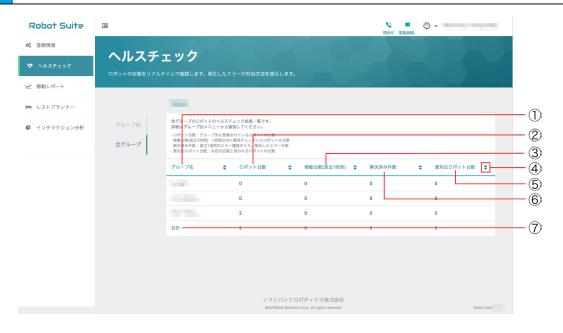
3-2-2 ヘルスチェック結果を確認する (全グループ)

全グループのロボットの健康状態(稼働状況や稼働台数、エラーの発生件数など)を確認します。

1 トップ画面で「ヘルスチェック」をクリック



2 全グループのヘルスチェック結果を確認する



ヘルスチェック結果画面

番号	説明
1	ロボットのグループ名です。
2	各グループに登録されているロボットの台数です。
3	1 時間以内に稼働していたロボットの台数です。
4	ソート機能です。昇順/降順に並べ替えて表示します。
5	発生しているエラーに対して対応が必要な台数です。
6	直近 1 週間のエラー履歴のうち、エラーが解決した件数です。
7	②、③、⑤、⑥のそれぞれの合計数です。

3-3 稼働レポート

3-3-1 稼働状況を確認する (全グループ)

全グループのロボットの月次稼働状況(「Pepper の稼働状況(月次)を確認する」34 ページ参照)と、日次稼働状況(「Pepper の稼働状況(日次)を確認する」36 ページ参照)を確認します。15 分毎に稼働を確認するため、総可動時間は15 分刻みで表示されます。

■ 稼働状況を確認するときは、あらかじめロボットの SBR アカウントが Robot Suite のログインアカウントと同じか確認してください。SBR アカウントは「詳細設定画面」(「Pepper for Biz 3.0 取扱説明書」の「詳細設定」参照)から確認できます。

■ Pepper の稼働状況(月次)を確認する

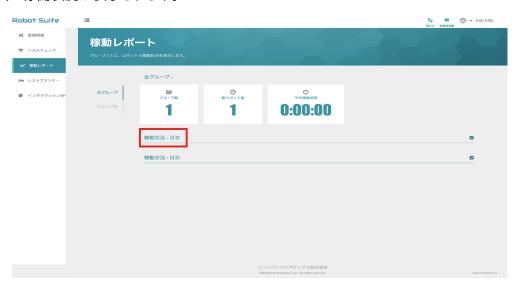
ログイン時(当月を含む)から3ヶ月前までの稼動状況を確認できます。

1 稼働レポート画面で「全グループ」をクリック

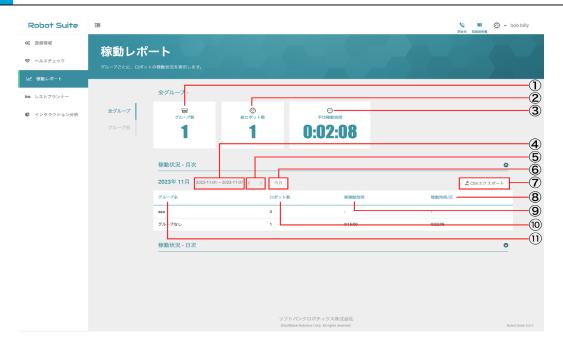


2 稼働レポート画面で「稼働状況 - 月次」をクリック

月次の稼働状況が表示されます。



3 稼働状況を確認する



稼働レポート(月次)画面

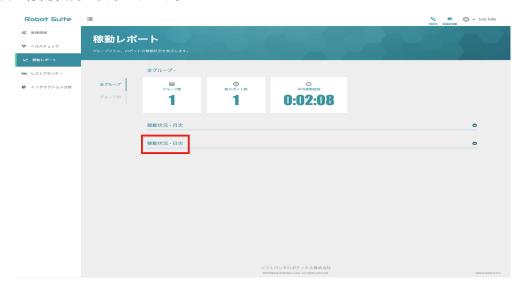
番号	説明
1	Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)に登録されているグループの総数です。
2	Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)に登録されているロボットの総数です。
3	月次の平均稼働時間です。
4	稼働状況を確認する期間です。
5	前月または翌月の稼働期間を設定します。
6	今月の稼働状況(月次)を表示します。
7	月次の稼働レポートを CSV ファイルでダウンロードします。
8	1 日あたりの平均稼働時間です。
9	各グループのロボットの総稼働時間数です。
10	各グループのロボットの台数です。
11	Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)に登録されている各グループのグループ名です。

■ Pepper の稼働状況(日次)を確認する

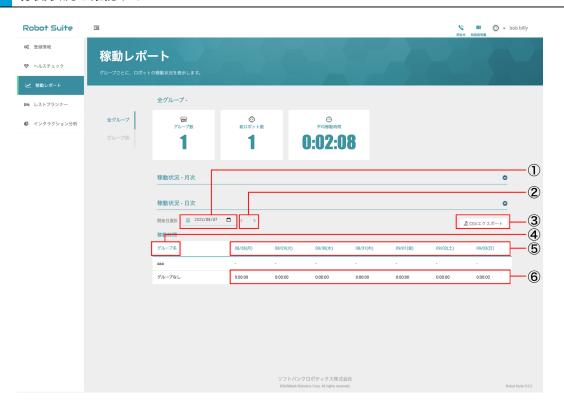
ログイン時(当月を含む)から3ヶ月前までの稼動状況を確認できます。

1 稼働レポート画面で「稼働状況 - 日次」をクリック

日次の稼働状況が表示されます。



2 稼働状況を確認する



稼働レポート(日次)画面

番号	説明	
1	稼働状況を確認する開始日を変更します。 ※ 初期表示は 6 日前~本日の稼働状況が表示されています。	
2	日次の稼働レポートを CSV ファイルでダウンロードします。	
3	Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)に登録されている全てのグループ名です。	
4	ロボットの稼働日です。7日間表示されます。	
5	日次の稼働時間数です。	
6	日次のインタラクション数とインタラクション時間です。	

3-3-2 稼働状況を確認する(グループ別)

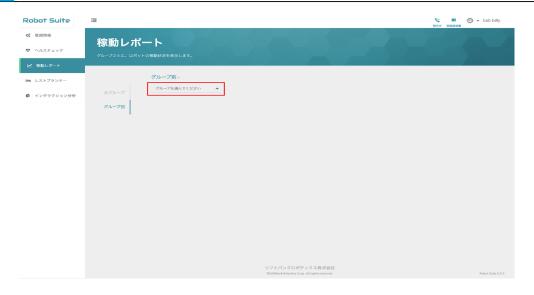
グループ別にロボットの月次稼働状況(「Pepper の稼働状況(月次)を確認する」38ページ参照)と、日次稼働状況(「Pepper の稼働状況(日次)を確認する」40ページ参照)を確認します。

■ Pepper の稼働状況(月次)を確認する

1 稼働レポート画面で「グループ別」をクリック



2 Pepper の稼働状況を確認したいグループを選択



3 稼働状況を確認する

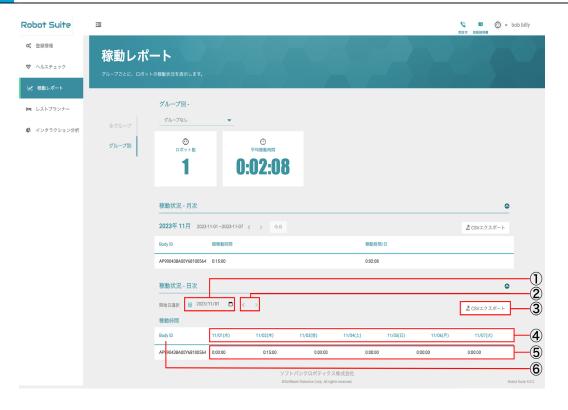


稼働レポート(月次)画面

番号	説明	
1	選択したグループのロボットの台数です。	
2	選択したグループのロボットの平均稼働時間です。	
3	稼働状況を確認する期間です。	
4	前月または翌月の稼働期間を設定します。	
5	今月の稼働状況(月次)を表示します。	
6	表示された稼働状況(月次)を CSV ファイルでダウンロードします。	
7	選択したグループのロボットごとの総稼働時間を月の日数で割った、1日あたりの時間です。	
8	選択したグループのロボットごとの総稼働時間です。	
9	選択したグループのロボットごとの Body ID です。	

■ Pepper の稼働状況(日次)を確認する

1 稼働レポート画面で「グループ別」をクリック



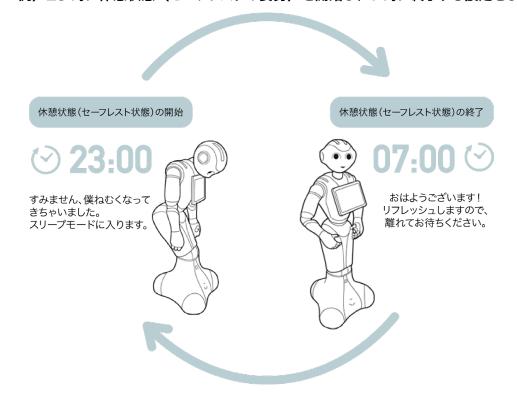
稼働レポート(日次)画面

番号	説明	
1	稼働状況を確認する開始日です。	
2	前月または翌月の稼働期間を設定します。	
3	表示された稼働状況(月次)を CSV ファイルでダウンロードします。	
4	稼働状況を確認する日付です。7日間表示されます。	
5	日次の稼働時間です。	
6	選択したグループのロボットごとの Body ID です。	

3-4 レストプランナー

指定した時刻にロボットを休憩状態(セーフレストの姿勢)にします。

■ 例) 23 時に休憩状態(セーフレストの姿勢)を開始し、7 時に終了する設定をした場合



3-4-1 レストプランナーを設定する

レストプランナーを実行するロボットを選択し、休憩状態(セーフレストの姿勢)状態を開始/終了する時刻を設定をします。

- レストプランナーを設定するときは、あらかじめロボットの SBR アカウントが Robot Suite のログインアカウントと同じか確認してください。SBR アカウントは「詳細設定画面」(「Pepper for Biz 3.0 取扱説明書」の「詳細設定」参照)から確認できます。
- レストプランナーを設定・実行するまでの流れ

対象のPepperを選択する



休憩状態(セーフレストの姿勢)の開始/終了時刻を設定する



Pepperを再起動する

■ レストプランナーを設定する

1 レストプランナー画面のロボットリストから設定したいロボットのグループ名をクリック



2 設定したいロボットにチェックを入れる

- グループ内全てのロボットを遠隔操作したい場合は、「すべて選択」にチェックを入れてください。
- 「ロボット検索」でグループ名、Body ID、Head ID を入力してロボットを検索することもできます。



3 「利用規約に同意」をチェック

■ 利用規約の内容は、Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)の画面右上のアカウント名にカーソルをのせ、「利用規約」をクリックすると表示されます。



4 「設定」をクリック

時刻設定画面が表示されます。



5 休憩状態 (セーフレストの姿勢) の開始時刻と終了時刻を設定する



レストプランナー設定画面

番号	説明	
1	選択中のロボットの台数です。	
2	休憩状態(セーフレストの姿勢)を開始する時刻を設定します。	
3	休憩状態(セーフレストの姿勢)を終了する時刻を設定します。	
4	レストプランナーの設定を無効にします。	

■ 設定した時刻は、選択したすべてのロボットに適用されます。

6 「設定」をクリック

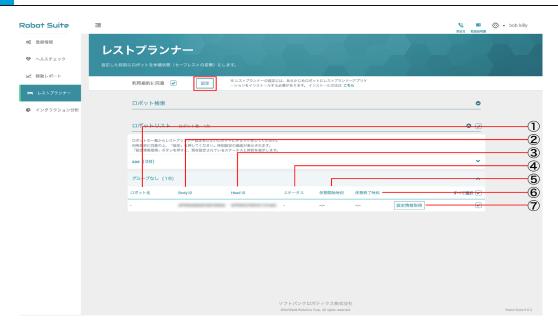
レストプランナーの設定が完了します。

■ 設定後にロボットを必ず再起動してください。



3-4-2 レストプランナーの実行状況を確認する

1 レストプランナー画面でレストプランナーの実行状況を確認する



レストプランナー画面

番号	説明	
1	ロボット名です。	
2	ロボットの Body ID です。	
3	ロボットの Head ID です。	
4	レストプランナーの設定が有効/無効か表示します。	
5	休憩状態(セーフレストの姿勢)の開始時刻です。	
6	休憩状態(セーフレストの姿勢)の終了時刻です。	
7	現在設定されているステータスと時刻を表示します。 ※設定情報は、ログアウト時にクリアされます。最新情報を確認するには「設定情報取得」 をクリックしてください	

3-5 インタラクション分析

SBR アカウントに紐付く Pepper が取得したデータを、CSV 形式でダウンロードします。 取得できるデータは、ログイン時から 3 ヶ月前までです。 取得できるデータの内容は 49 ページの「取得できるデータ」を参照してください。

3-5-1 Pepper が取得したデータを CSV 形式でダウンロードする

1 インタラクション分析画面でデータの取得期間を指定する

※期間は1日単位でのみ設定可能

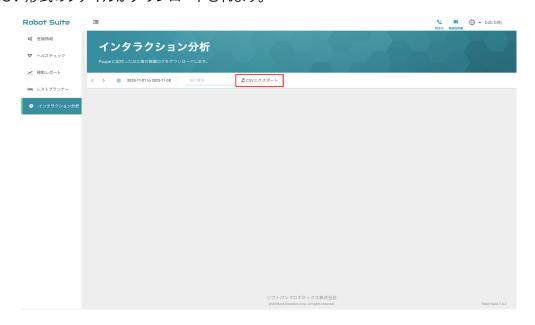


2 Pepper で実施したお仕事名の一部/全てをお仕事名に入力する



3 「CSV エクスポート」をクリック

CSV 形式のファイルがダウンロードされます。



■ 取得できるデータ

項目	説明
シリアルナンバー	ロボットのシリアルナンバーです。
テンプレート ID	そのお仕事の作成時に使用したテンプレートを識別する ID です。
お仕事 ID	そのお仕事を識別する ID です。
お仕事名	そのお仕事につけられた名前です。
開始日時	その回のお仕事を開始した時間です。
終了日時	その回のお仕事が終了した時間です。
性別	お仕事開始時に Pepper が推定したお客様の性別です。 (1:女性、2:男性、3:不明)
年齢	お仕事開始時に Pepper が推定したお客様の年齢です。 (0 以外:推定した年齢、0:不明)
ボックス名	実施したボックスに設定された名前です。
ボックス ID	実施したボックスを識別する ID です。

	実施したボックスの種類です。
	【ボックスの種類一覧】
	1. ホームボックス
	2. セリフボックス
	3. 印刷ボックス
	4. 質問ボックス
	5. メニューボックス
	6. 分岐ボックス (性別・年齢)
	7. ジャンプボックス
ボックスタイプ	8. 分岐ボックス (ランダム)
ハックスタイプ	9. AI 会話ボックス
	10. 遠隔応答ボックス
	11. アプリボックス
	12. アプリボックス
	13. 通知ボックス
	14. 条件分岐ボックス
	15. 属性判定ボックス
	16. 顧客情報取得ボックス
	17. ホーム位置ボックス
	18. 移動ボックス
	実施したボックスによっては詳細情報が記載されます。
	【コンテンツに格納される情報一覧】
	┃ ■ メニューボックス、質問ボックス
	blanch:お客様に選ばれた選択肢名
	face:顔認識の状況(true:お仕事の冒頭と同じ結果、false:異なる結果)
	■ アプリボックス
コンテンツ	package_name:起動したアプリのパッケージ名
	activity_name: アプリが起動したときのアクティビティ名
	launch_param:アプリが起動するときに渡される場合がある追加情報
	や設定 return_value:アプリや特定の機能が完了した後に返される場合がある値
	■ AI 会話ボックス
	■ Al 云語パックへ dialogflow_session:会話のセッション ID
	GIGIOGITON_0000IOTT : AHID C / > ID
コンバージョン	そのお仕事で到達したコンバージョンポイントのボックス ID のリストです。

4 用語集

	用語	読み方	説明
U)	インストール	いんすと一る	ソフトウェア(ロボアプリなど)を追 加したあと、使用可能にすることをい います。
え	遠隔操作	えんかくそうさ	遠隔でロボットを操作できる機能で す。
か	稼働レポート	かどうれぽーと	Pepper の稼働状況を確認できる機能です。全グループ、またはグループ 別に稼働状況を確認できます(「3-3 稼働レポート」34ページ参照)。
き	基本姿勢	きほんしせい	Pepper が起動中の際のデフォルト姿勢であり、使用可能であることを意味します。
き	胸部ボタン	きょうぶぼたん	Pepper の胸部のディスプレイのすぐ下にあるボタンです。Pepper の電源を入れる/切る、通知情報を聞く、およびレスト状態にする/解除するのに使います。
2	グループ	ぐるーぷ	Robot Suite(遠隔操作・ヘルス チェック)にロボットを登録する際に 設定するグループです。
U	初期設定	しょきせってい	Robot Suite (遠隔操作・ヘルス チェック) を使用する前に会社名や 業種などのユーザー情報をあらかじめ 設定します (「2-2 初期設定をする」 13ページ参照)。初期設定で登録 した内容は、あとから登録情報画面 で更できます。
कु	スリープ(状態)	すり一ぷじょうたい	Pepper を利用しないときに、スリープ状態にすることで電池の消費を抑えられます。LED ランプ(肩)が紫色に点灯して頭部が倒れた状態となり、周りの環境に反応しなくなりますが、Autonomous Life の機能が継続します(電源は切れていません)。

5	チャットボット	ちゃっとぼっと	Pepper に関する内容についてチャットで質問できるサービスです。一般的な質問は一問一答形式、トラブルに関する質問はフローチャート形式で対処方法を案内します。24 時間365 日利用できます。Robot Suite(遠隔操作・ヘルスチェック)のリンク画面(「3-6 リンク」48 ページ参照)からアクセスできます。
な	長押し起動	ながおしきどう	通常の起動とは異なり、機械(モジュール)を動かすためのプログラムの再書き込みを行います。 ※通常起動と異なりますので Pepperが起動するまで 10 分ほどお待ちください。プログラムの書き込みの失敗が原因でエラーが出ている場合、長押し起動で改善する可能性があります。
^	ヘルスチェック	へるすちぇっく	ロボットの健康状態を確認できる機能です (「3-2 ヘルスチェック」 26ページ参照)。健康状態はヘルスチェック結果として緑色・黄色・赤色のステータスで表示されます。
ф	ユーザー情報	ゆーざーじょうほう	初期設定で登録する会社名と業種です。ユーザー情報は「登録情報」で編集できます(「3-1-1 ユーザー情報を管理する」17 ページ参照)。
れ	レストプランナー	れすとぷらんなー	指定した時刻にロボットを休憩状態 (セーフレストの姿勢)にします。「3- 4-1 レストプランナーを設定する」42 ページ参照)。
3	ロボアプリマーケッ ト	ろぼあぷりまーけっ と	ロボアプリに関するウェブサイトです。 詳細は以下の URL の「Pepper for Biz 3. 0向け」をご覧ください。 https://www.softbankrobotics. com/jp/product/biz3/ services/?#third_app
	ロボットモニタリン グシステム	ろぼっともにたりんぐ しすてむ	ロボットを遠隔で監視しているシステ ムです。

А	Autonomous Life	おーとのますらいふ	Autonomous Life とは Pepper が 人間らしく行動している(呼吸など) とみせるための細かな言動の元となっ ている機能です。
В	Body ID	ぼでぃーあいでぃー	20 桁の ID です。Pepper の首の裏のゴム製カバーを開けてください。2次元コードの印刷されているシール上に Body ID (AP から始まる 20 桁の英数字) が記載されています。
Н	Head ID	へっどあい でぃー	20 桁の ID です。遠隔操作の実行履 歴を確認する際、Head ID を入力し て特定の Pepper の実行履歴を検索 することができます。
R	Robot Suite	ろぼっとすい— と	複数ある Pepper の管理ツールを一元的に利用することができるポータルウェブアプリです。使用する機能(「アプリ・お仕事管理」/「遠隔操作・ヘルスチェック」)毎にそれぞれ2つのウェブアプリで構成されています。ロボット、アプリ、お仕事、アカウントの管理や Pepper のエラー情報や稼動状況などを確認できます。